

事務事業評価シート(総括表)

事務事業	116	みんなで考える身近な公園の整備					
章	3	安全で快適な、みどりのあるまち					
大項目	04	うるおいのあるみどりのまちづくり					
施策	02	公園、広場などの整備充実					
事業内容							
目的	地域住民にとって身近な公園を、より一層使いやすい公園にするため、子どもを含む地域の住民参加によって改修プラン作りを行い、再整備を図っていきます。						
対象・手段	主に住宅街の中にある小規模な既存公園(600㎡程度以下)のうち、施設の老朽化や立地状況から利用度が低下している公園を対象とします。計画から工事までの期間を2年間とし、地域との協働による改修プランの作成には十分な時間を確保します。10年間で5園の整備を行います。						
成果(事業が意図する成果)							
地域の人たちが協働して公園を整備することにより、公園に対する愛着が湧き、公園の利用が増加されます。							
事業成果指標							
指標名	定義	目標水準					
整備目標公園数に対する整備済公園数の割合	目標値5園に対する達成率	(平成19年度) 年度に (100%) の水準達成					
整備目標内容に対する整備済内容の割合	目標値5園に対する達成率(設計・施工別)設計10ポイント、施工10ポイントで換算	(平成19年度) 年度に (100%) の水準達成					
		( ) 年度に ( ) の水準達成					
成果の達成状況							
	単位	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	備考	
事業成果指標	目標値1	%	60.00	60.00	80.00	100.00	:まつ川 設計 :まつ川 工事 :対象なし :原町 設計 :原町 工事 :やまぶき 設計 :やまぶき 工事 :しんかい 設計 :しんかい 工事 :大久保北 設計 :大久保北 工事 :西早稲田 設計 :西早稲田 工事 :西大久保 設計 (計130ポイント)
	実績1	%	60.00	60.00	100.00	120.00	
	= /	%	100.00	100.00	125.00	120.00	
	目標値2	%	70.00	80.00	90.00	100.00	
	実績2	%	60.00	70.00	110.00	130.00	
	= /	%	85.71	87.50	122.22	130.00	
	目標値3		0.00	0.00	0.00	0.00	
	実績3		0.00	0.00	0.00	0.00	
	= /	%	0.00	0.00	0.00	0.00	
事業の実施内容							
平成18年度	しんかいばし児童遊園 実施設計及び整備工事 482㎡ 大久保北公園 設計ワークショップ実施+実施設計+整備工事 783㎡ 西早稲田児童遊園 設計ワークショップの実施 区民との協働によるプランづくり						
平成19年度	西早稲田児童遊園 実施設計及び整備工事 441㎡ 西大久保児童遊園 設計ワークショップの実施 区民との協働によるプランづくり						

部名称		みどり土木部		課名称		みどり公園課	
		単 位	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	備 考
トータルコスト	事業費	千円	5,269	27	27,459	11,913	
	人件費	千円	8,338	4,169	20,700	12,390	
	事務費	千円	0	0	0	275	
	減価償却費等	千円	0	0	0	0	
	総計 = + + +	千円	13,607	4,196	48,159	24,578	
	受益者負担	千円	0	0	0	0	
	純計 = -	千円	13,607	4,196	48,159	24,578	
	受益者負担率 /	%	0.00	0.00	0.00	0.00	
財源内訳	一般財源 = -	千円	13,607	4,196	40,159	24,578	大久保北 まちづくり交付金
	特定財源		0	0	8,000	0	
	一般財源投入率 /	%	100.00	100.00	83.39	100.00	
職員	常勤職員	人	1.00	0.50	2.50	1.50	
	非常勤職員		0.00	0.00	0.00	0.00	
<b>事業に関する検討課題</b>							
<p>本事業の対象とする公園は、利用者の範囲が限られる小規模な公園であるため、協働を行う際のきめ細かい配慮が必要になり、さまざまな利用者のニーズに応えることが大切になります。</p>							
評価基準に基づく評価と理由 「3.2.1」の3段階評価です。	達成度	3	当初実施計画どおり進め、目標より1園多い6園の改修を行い、目標を達成しました。				
	実施の成果	3	整備が完了した既実施公園については、整備後の利用が高まっています。19年度完成した公園でも公園サポーターが結成され、管理・運営面での協働も進んでいます。				
	効率性	3	住民と協働で改修計画案を作成することから、真に必要な施設の見極めができ、効率的な設計が可能になっています。				
	行政の関与	2	公園管理者として、施設改修は当然の責務です。また、協働で公園を再整備する事業では、技術的な助言などのように行政が積極的に関与していく必要があります。				
	妥当性	2	使いやすい公園にするには、利用者ニーズに応えた公園を実現する事が重要であるため、地域との協働による公園整備を進めることは、適切です。				
	施策寄与度	3	この3年間で3園改修の実績があり、改修後の利用度も増加傾向にあります。総合的に3年間で公園の整備充実の施策寄与をしました。				
総合評価	19年度の評価はAとします。西早稲田児童遊園において、住民参画ワークショップにより、利用者ニーズにきめ細かく配慮した公園として改修できた結果、利用者が増えた点にあります。ワークショップを通じて公園サポーターも結成されました。また、過去3年の実績ではAと評価します。当初実施計画より1園多く公園改修を実施でき、目標を上回った点です。						A 過年度評価 18年度 A 17年度 A 16年度 B 15年度
	改革方針	この事業は引続き、第一次実行計画「75 みんなで考える身近な公園の整備」事業で取り組んでいきます。工事完了後も、区民が愛着と関心を持って管理に積極的に参加してくれるよう、より多くの区民の参画の下で、公園整備を行っていきます。					